



水道の歴史

水道施設紹介

水道事業の拡張期

昭和20年7月の宇都宮大空襲で水道施設は壊滅的な被害を受けたため、昭和24年度から拡張・復旧工事に着手しました。途中、昭和24年12月の今市地震で再び大きな被害がありましたが、災難を乗り越え、その復旧を含めて、工事は昭和28年3月に完了しました。その後、市域の拡大や人口の急増に伴う水需要の増加に対応するため、昭和30年度から6期にわたる拡張事業を開始しました。

第1期拡張事業では、本市2番目の浄水場である配水管理センター(旧山本浄水場)などを、昭和41年からの第3期拡張事業では3番目の浄水場である白沢浄水場などの施設を整備しました。そして、昭和46年に始まった第4期拡張事業では川治ダムという新たな水源を確保して、

4番目の浄水場であり最大の施設能力を有する松田新田浄水場などを整備しました。



配水管理センター (旧山本浄水場)

山本浄水場は宝井地区の地下水を水源とする浄水場(昭和32年7月通水開始)でしたが、平成16年11月からは配水管理センターとして配水コントロール、各水道施設の維持管理を行っています。



水を大事にしよう!



うつのみや泉水

白沢浄水場は昭和41年に着工、昭和44年7月に完成し、通水を開始しました。白沢地区の地下水を水源とし、最大44,000m³/日を給水する能力を持っています。

上下水道局が販売するペットボトル水「うつのみや泉水」はこの浄水場の水道水をボトリングしたものです。

※写真の建物は、平成21年に建て替えを行ったものです。



白沢浄水場

30万人の市民に供給しているよ!

松田新田浄水場は昭和46年から整備に着手、昭和54年1月に通水を開始した給水能力124,000m³/日の栃木県内最大の浄水場です。高間木取水場で取水した鬼怒川の表流水を浄水し、配水池から自然流下で市内に送っています。



松田新田浄水場

問 水道管理課 配水管理センター ☎624-8044
松田新田浄水場 ☎674-2259



トラブルに
なる前に!!

冬の水道 トラブル・凍結防止

防寒対策で凍結を防ごう!

水道管は気温が下がると凍結しやすくなり、蛇口から水が出なくなることや、水道管が破裂するおそれがあります。

(凍結しやすくなる目安は、氷点下4℃以下です。)

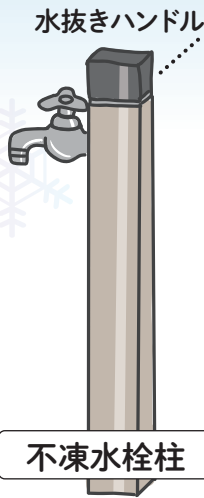
露出している水道管や蛇口に布などの保温材を巻き、その上からビニールテープなどをしっかり巻き防寒対策をしてください。



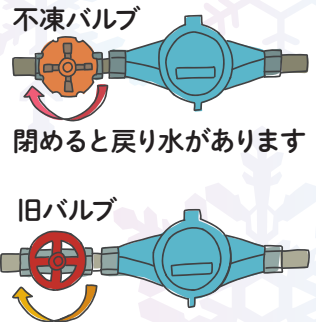
現在は、凍結防止機能が備わった「不凍水栓柱」もあります。適切な水抜きをして水道管の凍結を防ぎましょう。

水抜き操作の方法

- ① 水抜きハンドルを右回しで最後まで回す。
- ② 蛇口を開ける。
(空気を取り込み、水を逃がす)
- ③ 水の抜ける音がしなくなったら蛇口を閉める。



メーターボックス内の防寒対策が不十分な場合、メーターのガラスが破損することがあります。ご自宅を不在にする場合などは、不凍バルブを使用して水抜きをしてください。旧バルブの場合は、水抜きができませんので、メーターボックス内に布などを入れて防寒対策をしてください。



凍結してしまったら

凍った部分にタオルをかけ、その上にぬるま湯をゆっくりかけてください。管や蛇口に直接お湯をかけないでください。急に熱湯をかけると、管や蛇口が破裂することがあるので、注意してください。

凍結して、ご自宅内の水道管が破裂した場合には、メーターボックス内のバルブを閉めて、最寄りの指定工事店(局ホームページから閲覧可)へご連絡ください。

宇都宮市 指定工事店一覧

検索

道路から水道メーターまでの水道管の破裂については、配水管理センターまでご連絡ください。

問 水道管理課 配水管理センター ☎616-1331

また、水道メーターが凍結破損したときはサービスセンターまでご連絡ください。

問 サービスセンター 計量グループ ☎633-3188

雨と上手に暮らそう!

「タンクのメンテナンスは大変なの?」とご質問に応え、雨水貯留タンクのお掃除方法の一例をご紹介します。(製品によって方法が異なる場合があります。)

市街化区域(一部対象外の地区あり)で雨水を貯める貯留タンクや、浸透させる浸透ます等を設置する方に、設置費用の3分の2を補助しています(上限あり)。補助金の詳細については、下記にお問合せいただくか、局ホームページをご覧ください。



宇都宮市 雨水貯留

検索

問 工事受付センター 接続工事受付グループ ☎633-3164